

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2250 号

Extra-Perigastric Extranodal Metastasis is a Significant Prognostic Factor in Node-Positive Gastric Cancer

胃癌外科切除標本における Extranodal Metastasis 陽性症例の臨床病理学的研究

登内 晶子 (とのうち あきこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、胃癌外科切除標本において予後不良因子の一つとして報告される Extranodal metastasis (ENM) について、ENM を存在するリンパ節領域によって、胃周囲リンパ節領域の Perigastric ENM (P-ENM) と、それを越えて存在する Extra-Perigastric ENM (EP-ENM) に分けて、臨床病理学的因子、長期予後について後方視的に検討した。長期予後の検討において、EP-ENM 陽性例は、ENM 陰性例、P-ENM 陽性例と比較して有意に予後不良であった。本論文は ENM をリンパ節領域に基づいた分類で胃周囲リンパ節領域を越えた EP-ENM を認める症例が、極めて予後不良であることを初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。